

障がい者優先調達 NEWS

～そのお仕事、障がい者就労施設に発注できませんか？～

VOL.27 平成 28 年 1 月 8 日発行

(奇数月第 1 金曜日発行予定)

長野県 健康福祉部 障がい者支援課

TEL:026-235-7105(直通)

FAX:026-234-2369

E-MAIL:fuku-jiritsu@pref.nagano.lg.jp

■ 新春を迎えて

長野県知事 阿部守一



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、北陸新幹線の金沢延伸が実現し、県内の高速交通の事情が大きく変化した年でありました。今後のリニア中央新幹線の整備も見据え、県民の利便性の向上と地域経済の発展に向けた取組を幅広く進めてまいります。

今年は、諏訪大社の御柱祭や飯田のお練り祭りのほか、6月の「全国植樹祭」、8月の「国民の祝日『山の日』記念全国大会」、9月の「G7長野県・軽井沢交通大臣会合」等大規模なイベントが開催されます。これらを成功させるとともに、こうした機会を活かし、災害復興が進む姿や、信州の自然環境と山々の魅力、健康長寿県の強みを発信してまいります。

さて、今年は、私の二期目の任期の折り返しとなります。引き続き県民の皆様の幸せと長野県の発展のために全力を尽くすとともに、「共感」と「対話」を基本とした県政運営を行ってまいります。

政策面では、県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」に基づいて施策を着実に遂行するとともに、人口減少に対する施策を深化させた「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」に掲げた取組を「オール信州」で推進してまいります。

障がいのある方々の就労に関する施策につきましては、農業分野における障がい者の就労を促進するため、健康福祉部、農政部、産業労働部が連携して、「農業就労チャレンジ事業」を引き続き行い、農福連携の動きを一層加速させてまいります。

また、「障害者優先調達推進法」の取組では、全庁を挙げて取り組んでおりますが、平成 26 年度は目標額の 3,000 万円を上回る 3,700 万円の実績となりました。今後も、調達等の額の増加に向けて、取組を強化してまいります。

障がい者就労は、県内の県内経済を支える労働力の確保の観点からも、「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」において、その促進を掲げているところでございますので、関係部局の一層の連携を図りながら取組んでまいります。

結びに、今年一年の皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

■ 平成 27 年度の全国市町村における調達方針の策定率は「78.2%」（7 月 31 日時点）

先般、厚生労働省から「障害保健福祉関係伝達事項」として示された資料によりますと、全国市町村の策定割合は「78.2%」。長野県の市町村では全国を下回る「76.6%」となっています。18 市町村が未策定の状況となっており、早期の調達方針策定が望まれます。

なお、策定にあたって不明な事項等がございましたら、お気軽に自立支援係までお問い合わせください。

なお、厚生労働省から発出された資料は、以下のアドレスからご覧になれます。（資料 69 ページから 82 ページ参照）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaishahukushi/kaigi_shiryou/index.html

■ 「地域で暮らそうフォーラム 2015！」が開催されました

12月18日（金）から19日（土）の2日間、県は、障がい者を支援している関係団体等とともに、「地域で暮らそうフォーラム2015！」を、長野市若里市民文化ホール及びホテル国際21（ともに長野市）において開催しました。

これは、障がいのある方々が地域で安心して暮らしていくために、ともに学び、語り、考えることで、地域社会での共生の実現を目指すため、毎年開催しているもので、障がい福祉関係者等約330人が参加しました。

今回のフォーラムも引き続き障がい当事者の思いにスポットを当てた様々な企画が催され、初日の18日（金）には、「高齢精神障がい者の地域移行」「就労アセスメント」など、計5つの分科会や、障がい者就業施設による「キング・オブ・自主製品」と銘打った販売会が行われました。また、同日夜の交流会では「キング・オブ・自主製品」の結果発表も行われ、オリジナリティ（独自性）等4部門での表彰がありました（結果は下記のとおり）。

分科会の様子



「キング・オブ・自主製品」の様子



「キング・オブ・自主製品」結果

オリジナリティ（独自性）部門	楓舎（小布施町：革製品等）
パッケージ（見た目）部門	クロスロードあおき（青木村：バウムクーヘン等）
接客部門	カフェギャラリーてくてく（松本市：マフィン等）
総合部門	舞田館（上田市：ジャム等）

さらに、交流会に続いて、ナイトセッションが行われ、参加者は、お互いの日頃の気付きや悩みなどを語り合っていました。

翌19日（土）には、相談支援シンポジウムのほか、「ワタシの主張」と題して、障がいのある方々のヘアメイクショーが行われました。プロの美容師の手によって更なる魅力を発見した障がい者と共にその喜びの瞬間を、参加者全員で共有した素敵な時間となりました。



■ 「信州あいサポートフォーラム 2015」が開催されました

県は12月19日（土）、人権フェスティバルと合同で「人権フェスティバル2015・信州あいサポートフォーラム2015」として、長野市若里市民文化ホール及びMIDORI長野 りんごの広場（いずれも長野市）で、長野県障がい者社会参加推進センター等と共催により開催しました。

同市若里市民文化ホールでは、聴覚等の障がいに関する説明や、障害者週間（4ページに関連記事）のポスター、更には、信州ACE（エース）プロジェクトの紹介などに関するパネルの展示のほか、障がい者就労施設によるパン、お弁当などが販売され、昼食時とあって大勢の人が買い求めていました。

また、講師に為末大さんを招き、「スポーツから考える障がいの未来」と題した講演会が行われ、約380人が参加しました。

講演会に続き、講師の為末さんに加え、丸山香里さん、大下京子さんを招き、「見方が変われば、社会が変わる」と題した鼎談が行われました。



講師の為末さんをお迎え、
3人で行った鼎談の様子



講演を行う為末大さん（上の写真2枚とも）



MIDORI長野 りんごの広場では、FM長野の公開生放送が行われました。ライブゲストとして、伊那市出身の湯澤かよさんと、トークゲストとして、清泉女学院短大講師・道化師のつかはらしげゆきさんが登場、両人のライブ&トークが繰り広げられました。

多くのイメージソング・CMソングを手がけている湯澤さんの歌声と、笑顔を絶やさず親近感のあるつかはらさんのトークに、会場は盛り上がっていました。



公開生放送の様子

■ 12/3「障害者週間」の街頭キャンペーンを実施

県では、「障害者週間（12月3日から9日まで）」に合わせて、障がい及び障がいのある方に対する県民の関心と理解を深め、障がいのある方の社会参加を促進するため、長野駅及び松本駅前で、障がい者就労施設の障がいのある方々とともに、街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を行いました。

これは、障がい及び障がいのある方に対する理解を深めること等を目的とした障害者週間に合わせて行ったもので、県障がい者支援課職員が、障がいのある方々とともに、障がい者就労施設が作ったクッキーを、通勤、通学中の皆様配布しました。

特別ゲストとして、信州ブレイブウォリアーズの花野選手、信濃グランセローズマスコットキャラクター「グラッツェ」や「アルクマ」（以上長野駅）、松本山雅フットボールクラブマスコットキャラクター「ガンズくん」（松本駅）が参加し、握手や記念撮影を求める人々もあり、キャンペーンを盛り上げました。



クッキー等製造事業者
写真左：社会福祉法人いなりやま福祉会（長野市）
写真右：特定非営利活動法人夢の実（安曇野市）



松本駅前での配布。ガンズくんも参加



長野駅で配布した皆さん。
グラッツェ、アルクマも参加

お菓子 BOX「課長のうしろ」～神奈川県川崎市の取組～

先日、長野県セルフセンター協議会が開催した「2015工賃向上フォーラム」のシンポジストの一人として神奈川県川崎市の滝口様にご出席いただき、川崎市の取組をご紹介いただきましたが、大変参考になる取組と思われまますので、改めてご紹介したいと思います。

神奈川県川崎市では、「障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクト」の一つとして、障害者施設での製品の商品力・販売力を強化し、施設で働く障害者の工賃を上げていくことを目的に、マーケティング要素を基本に製品開発・販売戦略を企画する「川崎モノづくりミーティング」を平成26年度から展開しています。

そのプロジェクトの一つとして、お菓子BOX「課長のうしろ-behind your boss-」を、障害者支援施設「おかし工房しいの実」（川崎市中原区）のお菓子にて、平成27年5月から市内企業4社でのトライアル提供が開始されています。

「課長のうしろ-behind your boss」は、(1)企業で働く社員の皆様が小腹を満たしたい時に、手頃で美味しいラスクやクッキーなどのお菓子をいつでも100円程度のお手軽な価格帯で食べることができるとともに、(2)普段立ち入りにくい課長席の後ろにBOXを置くことを想定し、職位を飛び越えた職場内のコミュニケーションを創発させること、(3)職場内で納品作業を行う障害のある方との接点を持ちながら企業内での多様性のある組織風土づくりを「食」を通じて自然と育むことに貢献していくことを特徴とした法人向けサービスです。

長野県セルフセンター協議会でも工賃向上を図る取組として、川崎市と連携を図りながら実践してまいりたいと計画しておりますので、ご関心のある市町村、事業所のご担当者からのご連絡をお待ちしています。



資料提供：川崎市

※「障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクト2015」の概要は以下アドレスからご覧ください。
<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000067174.html>

特定非営利活動法人 長野県セルフセンター協議会
TEL：026-291-8280（代） 担当：福祉就コーディネーター 大塚 忠雄

主管課課長・企画幹昼食会でのお弁当発注～長野県の取組～

県では、各部署の横の連携を緊密にし、相互に関連する県政課題に的確に対処するため、今年度11月から主管課長及び主管課企画幹による会合を毎月定期的に行っております。

課長会議は毎月第1月曜日、企画幹会議は毎月第3月曜日の昼食休憩時にあたる12時から約50分の間、議論を交わしています。

限られた時間内で昼食を取る必要もあることから、担当課の行政改革課が窓口となり出席者の私費により、長野市近郊にある障がい者就労施設から配達いただいたお弁当を食べていただいています。

県庁近郊でお弁当を配達していただける事業者様に順番にお声掛けさせていただいておりますが、出席者からは、「美味しい」「内容に満足」など、好評をいただいているところです。今後も、公費による支出にとらわれず、様々な方法で、障がい者就労施設等への優先的な発注に取り組んでまいりたいと思います。



(11月16日に開催された企画幹昼食会の様子)

総務部 行政改革課 TEL : 026-235-7029
健康福祉部 障がい者支援課 TEL : 026-235-7105

長野県セルフセンター協議会からのご案内

- 第85回ナイスハートバザール in 佐久
期日：平成28年2月19日（金）～2月21日（日）
会場：イオンモール佐久平（佐久市佐久平駅南 11-10）
- 第86回ナイスハートバザール in 松本
期日：平成28年2月27日（土）～2月28日（日）
会場：アイシティ21・1階モール中央イベント広場（山形村 7977）
- 第87回ナイスハートバザール in 長野
期日：平成28年2月22日（月）～2月23日（火）
会場：ながの東急百貨店 別館シェルシェ5階ホール

～おかげさまで、自信をもって笑顔をお届けできるようになりました。～

クラフト工房 ともえの家



木曾義仲の里、木曾谷の小さな作業所『ともえの家』は、エコでおしゃれな雑貨を造っています。体や心にやまいを持ったみなさんが、静かな環境の中で丁寧な仕事をしています。

定員 10 名 B 型事業所 木曾町社会福祉協議会

事業所名	ともえの家	所在地	木曾郡木曾町日義 2 6 3 8 番地
電話番号	0 2 6 4 - 2 6 - 2 9 2 0	FAX	電話番号と同じ
事業種別	就労継続支援 B 型事業所	E-mail	tomoenoi@ju.kiso.ne.jp
URL		担当者名	管理者：和田 姿子

環境にも優しい再生紙（エコクラフト紙）で小物類を造っています

すべて
ハンドメイドの一点もの。
一押しは、ふくろうの置物
お買いものカゴも
ヒット商品



注文で、色・形をデザインし、お好みに合わせた商品を提供いたします。

[ともえの家のPR]



ともえの家は、一般家屋を改装した定員 10 名の小さな作業所です。通所される利用者の方皆さんも、もの静かな環境で丁寧な作業をすることが得意な方々です。野外の清掃活動などは不得意ですが、袋詰めや、細かな手作業なら任せてください。

県からも袋詰めのお仕事をいただいた実績もありますので、よろしく願いいた

<NPO 法人 長野県セルフセンター協議会 事業化推進員からの一言>

ともえの家は現在 8 名の利用者さんがいます。家庭的で柔らかな雰囲気の実業所ですが、工賃向上に関してはとても熱心で、昨年は諏訪の販売会「わ〜くわ〜くバザール」にも出店しました。全て手作りなので一度に大量の生産はできませんが品質は確かです。オリジナル商品にも対応しますので、是非ご用命をお願いいたします。

担当事業化推進員：笹森一宏